

# 令和3年度地域公共交通交通確保維持改善 事業・事業評価について

令和4年1月24日  
地域活性推進課

## ●事業評価の概要について

地域公共交通確保維持改善事業（補助金）を活用した事業について、次年度又は将来の事業をより効果的・効率的に実施するために、事業の実施状況等を振り返り評価するものです。

1. 対象路線 稲築桂川線、市内循環線（東回り 山田方面）

2. 評価期間 令和2年10月1日～令和3年9月30日

3. 目標・効果達成状況

【稲築桂川線】目標収支率20% → 実績14.5%

【市内循環線（東回り 山田方面）】目標収支率20% → 実績19.1%

4. 今後の課題、対応

目標とする収支率には届いていないものの、昨年度よりも収支率は稲築桂川線でも2.3%上昇しており、少しずつ利用者数も伸びてきている状況にある。

今後は既に構築した路線の更なる利便性の向上のため、利用者アンケート等で把握した利用者ニーズに合わせた見直しや、未来の利用者（子どもや現在は自分で運転している人）育成にも視野を向け、利用しやすい、わかりやすい市バスを目指し、継続した周知活動と合わせて、新規利用者の獲得を目的とした事業を実施予定です。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 嘉麻市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
嘉穂観光株式会社	稲築桂川線 (市役所・稲築病院経由) R2.10～R3.3	利用者数の偏りや、市民からの要望等を精査し、早朝や夜間などの特定の時間に乗降りがないバス停を経由しない系統に部分的に修正するなど、効率的な運行を目的とした全体的なダイヤの見直しを実施した。 また、改定に伴い、利用者への周知として、嘉麻市総合時刻表の全戸配布や市内外主要施設への設置、広報誌への定期掲載、また、市内在住の学生に向けた通学定期券の補助制度を継続して実施し、バスの利用呼びかけを行った。	A	生活交通確保維持改善計画に位置付けられたとおり、事業を適切に実施した。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 (目標収支率:20%→実績:14.5%)	令和2年度4月の全体的な路線の見直し後も、適宜利用者からの要望や意見を精査し、ダイヤや路線の見直しを実施してきました。 今回は、目標としていた収支率に5.5%及びありませんでしたが、昨年度と比較すると2.3%上昇しており、利用者数も増加傾向にあります。 今後はより効率的な運行を目指すために、意見や要望の検証をしながら適宜見直しを付けていくとともに、市バス自体の周知や利用者育成にも視野を向け、利用しやすい、わかりやすい市バスを目指した事業等を実施予定です。
	稲築桂川線 (市役所・稲築病院経由) R3.4～R3.9		A	生活交通確保維持改善計画に位置付けられたとおり、事業を適切に実施した。		
	稲築桂川線 (東岩崎・嘉穂総合高校経由) R2.10～R3.3		A	生活交通確保維持改善計画に位置付けられたとおり、事業を適切に実施した。		
	稲築桂川線 (東岩崎・嘉穂総合高校経由) R3.4～R3.9		A	生活交通確保維持改善計画に位置付けられたとおり、事業を適切に実施した。		
	稲築桂川線 (なつきが丘・嘉麻市役所・稲築病院経由)R2.10～R3.9		A	生活交通確保維持改善計画に位置付けられたとおり、事業を適切に実施した。		
	稲築桂川線 (嘉麻市役所経由) R2.10～R3.9		A	生活交通確保維持改善計画に位置付けられたとおり、事業を適切に実施した。		
株式会社ひまわり観光	市内循環線(東回り:山田経由) R2.10～R3.3	稲築桂川線同様に、市民からの要望を基に、早朝などの特定の時間に乗降りがないバス停を経由しない系統に部分的に修正したり、利用が多い通学に使える早朝の便の増便などを含めた、効率的な運行を目的とした全体的なダイヤの見直しを実施した。 また、稲築桂川線と同様の広報活動を実施し、路線の周知に努めた。	A	生活交通確保維持改善計画に位置付けられたとおり、事業を適切に実施した。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 (目標収支率:20%→実績:19.1%)	稲築桂川線同様に、令和2年に大幅な見直しをかけ、その後も継続して利用者の要望や意見を検証し適宜見直しを実施してきました。 今後も更なる利便性向上、効率的な運行のため、適宜路線ダイヤの見直しを実施しながら、市バス自体の周知や利用者育成にも視野を向け、利用しやすい、わかりやすい市バスを目指した事業等を実施予定です。
	市内循環線(東回り:山田経由) R3.4～R3.9		A	生活交通確保維持改善計画に位置付けられたとおり、事業を適切に実施した。		
	市内循環線(東回り:山田経由) R3.4～R3.9		A	生活交通確保維持改善計画に位置付けられたとおり、事業を適切に実施した。		

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	嘉麻市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>嘉麻市は福岡県のほぼ中央に位置し、面積は135.11km<sup>2</sup>、人口は36,286人(令和3年11月末時点)となっており、近年では高齢化率が39.66%と人口減少と高齢化が進展している。</p> <p>本市においては、平成29年に嘉麻市地域公共交通網形成計画を策定しており、網形成計画に定める実施事業において、利便性の高い交通環境を構築し、市内外を結ぶ公共交通路線の確保を掲げている。</p> <p>市内稲築地区にはJR後藤寺線の下鴨生駅が立地し、飯塚市及び田川市方面へのアクセス性を有するが、福岡市や北九州市方面等の広域的なアクセスにおいては、隣接する桂川町に立地するJR福北ゆたか線の桂川駅への住民の移動ニーズが高い。さらに、稲築地区と桂川駅を繋ぐ沿線には、稲築志耕館高校、嘉穂総合高校の2つの高校が立地し、市内から嘉穂総合高校、市外から稲築志耕館高校の双方のアクセス性の確保も求められる。</p> <p>また、稲築地区には市役所本庁舎があり、市内外からの移動ニーズが高まっている。併せて、山田地区ではスーパー等の商店が閉店し、1店舗のみとなっており、山田地区から稲築地区に立地しているスーパーやホームセンター等商業施設への移動にもニーズがある。</p> <p>このため、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統を組み合わせ稲築地区と桂川駅を繋ぐ稲築桂川線、山田地区と稲築地区を繋ぐ市内循環線(東回り 山田方面)を確保、維持することで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>

### 概要

嘉麻市には、鉄道や路線バス、嘉麻市バスなどの交通手段があります。各交通手段については、次のとおりです。

#### ◎鉄道について

嘉麻市内には、JR後藤寺線(下鴨生駅)があり、新飯塚方面や田川後藤寺方面へ運行されています。

#### ◎路線バスについて

嘉麻市内には、西鉄バスの3路線(飯塚～大隈線、上山田線、碓井線)があります。

#### ◎嘉麻市バス

嘉麻市では、令和2年4月から福祉バスを市バスに統合し、定時定路線を10便、デマンド運行型バスを合併前の市町の4地区ごとに運行しています。

#### ◎嘉麻市バス稲築桂川線(国庫補助事業対象路線)

この路線は、市北西部に位置し、市内唯一の鉄道駅のある稲築地区と、九州の中核都市である福岡市への鉄道最寄り駅となる桂川駅を結ぶ路線です。路線の沿線には高校が2校立地し、市内外からのアクセス性を確保しています。

#### 【運行便数】 1日24便

- ・市役所、稲築病院経由: 17便
- ・東岩崎、嘉穂総合高校経由: 2便
- ・なつきが丘・市役所・稲築病院経由: 3便
- ・市役所経由(志耕館高校を経由しない): 2便

#### 【運行距離】

- ・市役所、稲築病院経由: 12.9km
- ・東岩崎、嘉穂総合高校経由: 14.3km
- ・なつきが丘・市役所・稲築病院経由: 13.3km
- ・市役所経由(志耕館高校を経由しない): 11.6km

#### 【バス停数】 26箇所

#### ◎市内循環線(東回り 山田方面)(国庫補助事業対象路線)

この路線は、山田地域と令和2年4月から供用開始した市役所新庁舎を繋ぎ、通学での利用や、スーパーやホームセンター等の商業施設利用を加味した、山田地域から稲築地域へのアクセス性を確保しています。

#### 【運行便数】 1日13便

- ・総合バスステーション、稲築病院経由: 8便
- ・〃(嘉穂支所を経由しない): 5便

#### 【運行距離】

- ・総合バスステーション、稲築病院経由: 20km
- ・〃(嘉穂支所を経由しない): 19.6km

#### 【バス停数】 42箇所



### 基礎データ

合併状況: 平成18年3月1市3町(山田市・稲築町・碓井町・嘉穂町)が合併  
人口: 36,286人(令和3年11月30日時点)

面積: 135.11平方キロメートル

過疎地域等指定: 過疎

高齢化率: 39.66%(令和2年度末時点)

補助対象の系統数: 5系統(地域間幹線系統3、フィーダー系統2)

自治体負担額: H28 72,667千円、H29 77,043千円

H30 79,265千円、H31 106,963千円

R2 103,647千円

協議会開催数: 交通会議2回(令和3年12月末時点)

### 計画、目標(Plan)

※国庫補助事業の対象である稲築桂川線・市内循環線(東回り 山田方面)に限定

本市は、平成29年に嘉麻市地域公共交通網形成計画を策定しており、利便性の高い交通環境を構築し、市内外を結ぶ公共交通路線及び生活交通手段の確保、維持を目標としている。

嘉麻市地域公共交通網形成計画に定める実施事業において、稲築地区から桂川方面への路線(稲築桂川線)を維持することにより、市民の市内外への移動や、路線沿線上に立地する市内外高校2校へのアクセスの確保。また、稲築地区と山田地区を直接運行する路線(市内循環線(東回り 山田方面))を維持することにより、稲築地区にある市役所本庁舎への市内外からの移動及びスーパー等の商業施設や、市内高校2校へのアクセスを確保することを目指す。

またそれらの数値目標として、各路線収支率20%を目標として定めている。

この計画は、将来のまちづくりの指針となる「第2次嘉麻市総合計画」などの上位計画と綿密な連携を図るものです。

### 生活交通確保維持改善計画等の取組み(Do)

※国庫補助事業の対象である稲築桂川線・市内循環線(東回り 山田方面)に限定

平成31年4月から稲築地区と桂川駅を結ぶ稲築桂川線の運行を開始。路線沿線には稲築志耕館高校と嘉穂総合高校の2校が立地しており、市内外から双方の学校へ通学できるように運行を行っている。令和2年度には利用者の実状に併せて上下便ともに増便、令和3年度には学校を経由する便の増便や、早朝や夜間などの特定の時間に乗降がないバス停を経由しない系統に部分的に修正するなど効率的な運行を目的とした見直しを実施した。

令和2年4月から山田地区と市役所本庁舎や、稲築地区に立地する商業施設を繋ぐ市内循環線(東回り 山田方面)の運行を開始し、令和3年度には学生の利用が多い朝の便の増便や、稲築桂川線同様に利用者の実状に併せた系統の修正等を実施した。

また、両系統ともに、利用者の意見や要望等を検証し、適宜ダイヤや路線等の修正を行い、定期的に広報誌や嘉麻市ホームページ、嘉麻市総合時刻表の市内外への配布等により、更なる利便性向上や、利用者数を増やす取組に努めた。

### 実施状況、目標の達成(Check)

※国庫補助事業の対象である稲築桂川線・市内循環線(東回り 山田方面)に限定

稲築桂川線は新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出自粛や臨時休校等の影響はあるものの、収支率は昨年度より2.3%上昇しており、利用者数も徐々に増加傾向にある。当初の想定どおり、高校生の通学での利用が見て取れる。

市内循環線(東回り 山田方面)についても令和3年度から通学利用が多い朝の便を1便増便したことにより利用者数は増加傾向にあり、コロナ渦ではあったが、収支率は19.1%となっている。

### 今後の課題、対応(Action)

※国庫補助事業の対象である稲築桂川線・市内循環線(東回り 山田方面)に限定

稲築桂川線及び市内循環線(東回り 山田方面)については既に路線として構築されている状態であり、少しずつ市民に対しても周知されてきたところではあるが、令和3年9月末時点では、目標とする収支率には届いていない。

今後は既に構築した路線の更なる利便性の向上のため、利用者アンケート等で把握した利用者ニーズに合わせた見直しや、市バス自体の周知や未来の利用者(子どもや現在は自分で運転している人)育成にも視野を向け、利用しやすい、わかりやすい市バスを目指し、継続した周知活動と合わせて、新規利用者の獲得を目的とした事業等を実施予定です。